

特501

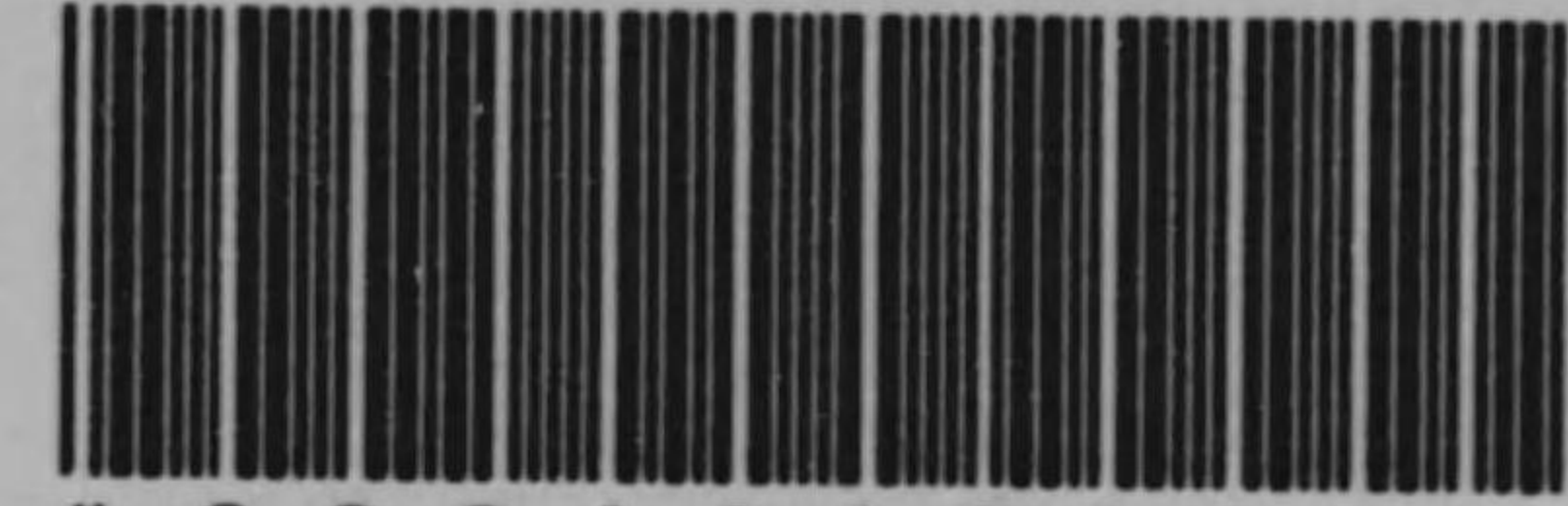
904

祖国よりの便り

[日本の共産主義者への呼びかけ 岡野・田中]

(国際通信 第3巻 第5号)

国立国会図書館



* 0034667000 *

0034667-000

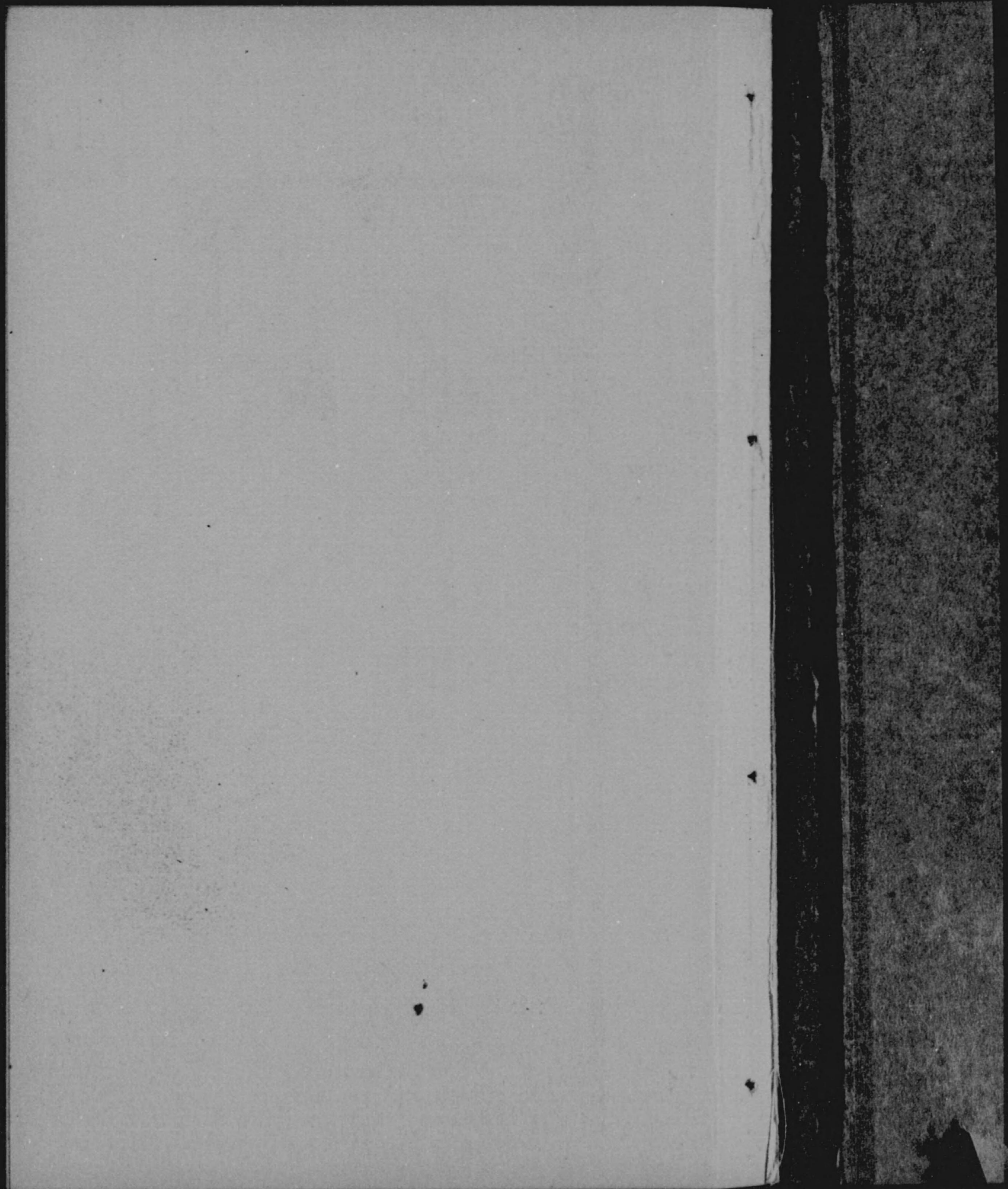
特501-904

祖国よりの便り

[国際通信社]

[昭和11.5]

AGC



特50
904



祖國よりの便り



1936
五

昭和十一年一月十日

田中
固定費五銭

日本の共済生業者の便り

80WS0125

日本の共産主義者へのてがみ

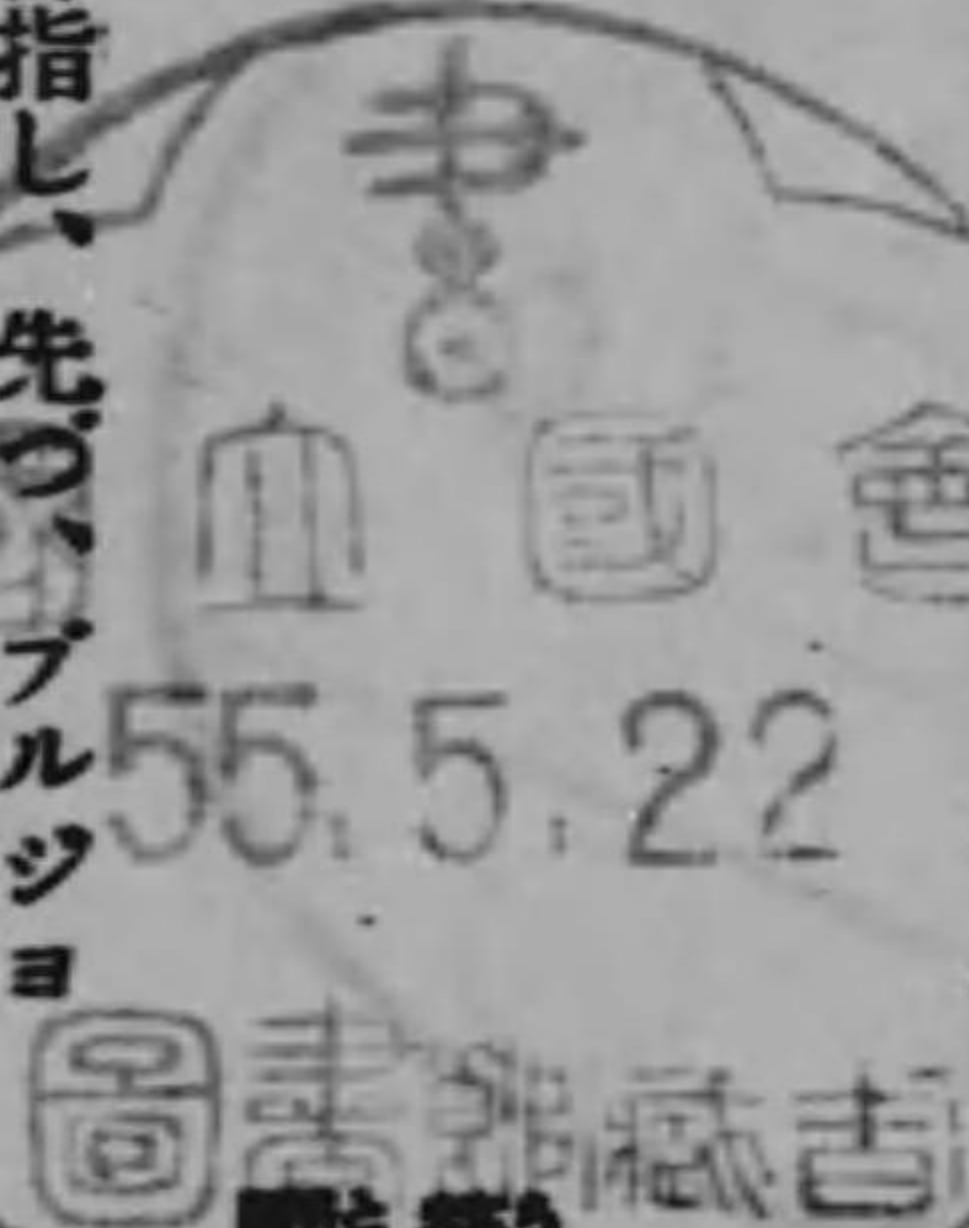
岡野 田中

一九三六年二月十日

親愛なる同志諸君！

(一)

吾黨は、プロレタリア獨裁の樹立を目指し、先づブルジョア民主主義革命を遂行せんとしてゐる。此基本方針は全く正しい。蓋し、今日の近代の吾が日本には、なほ非常に多くの封建的殘滓があるからである。わが國には軍事的警察的天皇制があり、寄生的半封建的土地所有制度が存在し、また、封建的遺制は、勞資關係にさへも残つてをり、社會生活、家族關係の全面に亘つて存続してゐるからである。封建制度の殘滓がかくも強かに存在すると言ふ事實によつて、まづブルジョア民主主義革命の諸任務解決のための闘争が必要となるのである。換言すれば、天皇制の打倒と、勞働者農民の革命的民主主義的獨裁の樹立、地主の土地無償沒收と土地の農民への分配、八時間勞働と



勞働者及び全勤勞民の生活の急激な改善、即ちこれらのために闘争することが必要である。ブルジョア民主主義革命の發展と、それを更に社會主義革命にまでおし進めるための闘争こそが、日本プロレタリア獨裁、ソヴィエット社會主義制度の樹立、人による人の搾取制度の徹廢への唯一可能の眞實の道である。これこそが、社會の全成員が享樂し得る裕福と文化生活への道である。

△過去のセクト的誤りを正せ

右の如き、たゞしき戰略的方針によつてわが黨はすんで居るが、いまだ尙黨は、大衆を彼等の當面の利益のための闘争に動員し、これによつてブルジョア民主主義革命の基本的任務達

成のための闘争に導くように、巧妙に具體的に大衆に接近するといふことには成功してゐない。我々は、大衆的方法を用ふるかはりに、革命の基本的スローガンの抽象的宣傳にあまんずるといふ様な宗派主義的誤謬におちいると云ふきらひがあつた。また、之と關聯して、廣汎な大衆は、まだ、天皇制打倒のため、直接公然たる闘争を行ふ用意をまだしてゐないといふ事實を考慮に入れなかつた。といふのは、廣汎な大衆は排外主義的偏見や天皇制に關する一切の幻影からまだ完全に脱し、しきつてはゐないといふ事實をはつきりと見なかつたのだ。大衆は、只自分自身の政治闘争の經驗によつてのみ、この幻影を打破ることが出来るのだ。

△當面の主要敵は軍部

コンミンテルン第七回世界大會の諸決議及び現下の國際情勢の具體的分析に基いて、我々はこの戰術的方針を是正し、一層適確なものたらしめなければならぬ。まづ第一に、現在、勞働階級にとつて最大の危険は何でありどこからそれが来るか、如何なる敵に對して廣汎な大衆闘争を展開すべきであり、また、展開し得るか、といふことを明確にすることが重要である。そして我々の政治的スローガンは、現

在の主要な敵に對して大衆を喚起させ得るようなものを掲げなければならぬ。

さて、今日に於ては闘争を敢行せねばならぬ主要な敵がファシスト軍部だといふことは極めて明瞭である。軍部は天皇制機構のうちの最も反動的な最も野蠻な帝國主義者である。軍部は中國に於て開始した過去四年間の侵略的軍事行動を利用して彼等の特權、時には獨裁權をも擴張し、自由と民權の最後の片鱗に對してさへも極度の攻撃を加へ、美濃部博士の如き、天皇主義者さへも處罰するといふ程度に迄達した。軍部は軍事費を未嘗有に膨脹させ、國富を濫費し、國民大衆を塗炭の苦みにおとし入れた。

だが、これらの闘争氣運共にとつては、國民の慘苦などはどうでもよい。彼等の代表者が公言して居る如く、「天の使命」たる新「大戦争」の準備そく進のためには、國の經濟資源や經濟的破綻の危険を考慮する必要はなく、そのためには、日本を「焦土」と化すこともあへて辭せずといつてゐる。ファシスト軍部に、わが國をファシスト的野蠻、經濟的軍事的慘禍にみちびき、又、わが日本國民を國際反革命の肉燻たらしめんとしてゐる。

△ 軍事獨裁の危険を過少評價するな

軍部、特にその過激分子は、我國、今日の反動にさへ尙満足せず、公然たる軍事ファシスト獨裁を打ち立てんと躍起になつてゐる。彼等はまた、労働者農民の合法團體を破壊し、ファシスト黨以外の一切の黨を禁止し、かくして、我國の全労働者を搾取者の従順な奴隷、暗殺軍部に對して一言半句の抗議をすらなす權利のない奴隷、いかなる掠奪にも、如何なる搾取にもまたいかなる暴虐にも盲従させられる奴隷にかへんと狂奔してゐる。

日本のファシズムが、自分の大衆政黨をもつてゐないといふ事實は、ファシストの有する危険性をすこしも減殺するものではない。天皇制、そして、特に軍部が國政上に特權をもつてゐるために、日本のファシズムは、軍事ファシスト獨裁によつて勝利することが出来る。即ち軍部は陸海軍に對して獨裁權もち、また搾取階級のみならず、都市並に農村の廣汎な小ブルジョア大衆の間に其熱意を擴大せんとしてをり、更に労働者のあひだにさへ侵入して、幾多の労働組合を彼等の腕に引入れることに成功してゐる。現在の反動政府は、軍部の侵略的ファシスト分子と成る程度の意見の相違を有しながらも、軍事ファシス

ト獨裁樹立のために準備してゐる。

故に軍事ファシスト獨裁の危険を過少評價することは、大きな誤謬である。労働大衆の闘争が集中されねばならないのは、實に此脅威に對してであり、軍部の内外政策に對してである。此任務は、金融資本及び地主に對する闘争と最も結びついたものである。けれどファシスト軍部こそは、大資本家の最も反動的な分子及び寄生地主等の利益を代表して居る者だからである。されば現政府の反動政策に對する闘争は、廣汎な大衆の基本的利益のための闘争であるのみならず、ファシストの危険に對する闘争中の最も重要な任務の一つである。

△ 條件は無しつゝある

軍事ファシスト獨裁の脅威に對して、偉大な國民運動をまき起すための條件は、今日わが國內に成熟しつゝある。また反ファシスト的氣運は、労働階級の間に増大し、その力は結成されつゝある。軍部の權威は失墜しつゝある。農民並に都市小ブルジョアの不滿、救済を要求する彼等の叫びは、益々軍事費の加重負担反對の方向に向つてゐる。至國民の間、特に労働知識階級の間に、自由に對する軍部の壓迫反對の抗議が増大しつゝある。

國民大衆の間における不協の増大、軍部の冒險政策、政權奪取の爲の策動、之等は支配階級階級内の闘争をすら尖鋭化してゐる。大ブルジョア政黨である政友會は軍部の政策を益々支持せんとしてをり、今一つのブルジョア反動政黨民政黨は、現政府を支持するとともに「ファシズム反對」のスローガンを掲げた政黨はこゝろすることによつて廣汎な國民の間にある反ファシスト氣分のコウヨウを利用し、軍部の過激派を抑へ、かくしてブルジョアジイが容易に承諾し得るような妥協を軍部の指導部から得んとしてゐる。

ファシズム反對闘争の成功は、軍部と妥協し、取引せんとする政黨やグループに對して闘争しなれば不可能である。我日國民の利益は、ファシズム及び戦争に對する徹底的闘争を要水してゐる。

△ 道は一つ、反ファシスト戦線へ

わが國民をファシズムと戦争の戦慄から救ふ道は、労働階級の統一行動と反ファシスト人民戦線を基礎とする偉大な國民運動のみである。されば日本共産黨の當面する任務は、軍部、反動、戦争に反對して全労働者を統一することである。即ち、わがわが國は對立する二つの陣營にわかれてきた。即ち、フ

ファシスト軍部、金融財閥、及び地主の陣營、即ち暗黒な反動と軍事的冒險の陣營と、これに對して労働階級の統一戦線、即ち民主主義、平和、勤勞の陣營である。

おもふに以上が我黨の政策と戦術との最も緊急な目標であり我等の當面の見透しである。かゝる見透しの上になつて、労働階級の統一行動及び廣汎な人民戦線の樹立の爲に既に開始されてゐる運動は、全力をつくして強化されなければならぬ。此場合に於て、労働者と農民の同盟と云ふ觀念が民衆の間に益々普及されつゝあるといふ事實を利用すべきである。小作人のみならず全農民の利益は、地主の利害と對立し、少經營者の利益は彼等を奴隷化する大企業の利害と對立し、小商人の利益は巨大なデパート所有者の利害と對立し、労働知識階級の利益は、腐敗官僚や高給官の利害と對立する。しかして労働階級は大資本家の奴隷にされてゐるのだ。彼ら皆無權利と警察の横暴に苦められてゐるのに、今やファシズム軍部によつて更に一層の無權利と横暴とに賣かされんとしてゐる。

労働者、農民、都市小ブルジョア、知識階級は、我國全人口の九割以上を占めてゐる。我國民を實際に構成してゐるのは實に彼等であつて、彼等を弾壓し、掠奪してゐる少数者ではないのだ。吾黨はこれら労働農民の指導者たりうるし、また指導者とならな

なければならぬ。

△ 民主的日本人か 軍事獨裁の日本人か

そこで問題は次のように立てられる。即ち民主主義日本人か、それとも軍事ファシスト獨裁か。しかしして軍事ファシスト獨裁は、わが日本を徳川幕府の職職たる軍事獨裁の状態に引きもたさんとするものであり、軍事的、經濟的破壊に導くものである。それ故に、闘争の現段階における我々の主要政治スローガンの内容、即ち國民運動のスローガンは、左記の如くでなければならぬと考へる。即ち反動と軍事ファシスト獨裁の脅威反動、軍閥力が人民の手にある民主主義日本の樹立、全成人の一級平等、直接無記名投票によつて選ばれたる最高權力を有する人民憲法會議の開設!

(11)

△ 民衆のスローガン

一、吾黨は、徹底的に非合法的並に廣汎な合法的運動を遂行し又軍部及び其ファシズムと戦争政策に協力する反動的諸政黨並に其代表者を強く批判すると共に、労働者、農民大衆の間に最

も懸されてゐるスローガンを前面に押出すべきである。かゝる

スローガンの内容は、現在に於ては、大体次の如きものであらう
イ、反動と軍事ファシスト獨裁の危険に反対する闘争。
ロ、軍部の特權剝奪。自由民権の擴張、人權保護。ストライキ小作争議の自由と、それに對する警官の彈壓反對。言論出版、集會、結社の自由。婦人の平等權利。選挙權の擴張
ハ、軍事費の削減、之を失業者、窮乏民救済資金に充當する事
ニ、解雇手當法の制定及び臨時工制度の撤廢。労働組合の組織及び行動の自由の保障。八時間労働、一週一回の公給休日
日の制定。
ホ、農民、消費購買組合、小商人、使用人の借金のモラトリウム、彼等に對する無利子資金の貸與。
ヘ、小作料の引き下げ、並に土地取り上げ禁止を基本とする小作法の制定。土地を農民へ。

(6)

ト、戦争政策にあらずして平和政策。中國民衆に對する戦争の即時中止。ソヴェエツト同盟との不可侵條約の即時締結
共産主義者の合法的、非合法的政綱は、内容に於ては同一であるが、其形態は明らかに異つたものでなければならぬ。要は廣汎な運動のために合法的可能性を出来るだけ廣範圍に利用することである。即ち共産主義者が合法場面で闘争を遂行し

るような形態のものでなければならぬ。例へば「ファシズム反對」といふスローガンは、現在至るところでいはれてをり、また禁止もされてゐない。故に、ファシズム及び日本主義團體反對の形において軍部の政策を充分に曝露することが出来るし、またそれが必要である。

二、共産主義者は、わが日本國民の不利益をはからんとする國賊だといふ支配階級のデマは徹底的に粉碎しなければならぬ。資本家の腰巾着や、軍服をきた愛國主義者輩がかぶつてゐる國民の福シの「擁護者」といふ假面を引つげがさねばならぬ。彼らは愛國の名に隠れて、一握りの搾取者の利益を擁護してゐるのだ。我々は、共産主義者のみが、我國の全勤勞民の利益の爲に戦ふものだといふ事を示し、又それを證明しなければならぬ。ファシスト軍部に反対する闘争に於て、我々は、日本國民が歴史上に有する革命的事實、及び徳川幕政に對する民衆の憎惡を利用する必要がある。なぜなれば、この徳川幕府の彈壓、暴政を、軍部は今日我國に復活させんとしてゐるからである。

(11)

△ 黨員は大衆團體の中へ

労働階級の統一行動、及び反ファシスト人民戦線のための闘

争に於て、我黨は次の如き任務を有するものと考へる。

一、共産主義者及其支持者は、勤勞民のあらゆる合法的大衆團體、第一に労働組合や、農民組合に加入しなければならぬ。しかしして其所屬團體とともに現存の無産大衆政黨に加盟すべきである。そして、これらの團體内に於て、積極的活動を行ひ、會員の大多數、及び、全組織を階級闘争の方向に、左翼の潮流に引き込む様に努力し、かくして、中央及び地方で組織された全無産者の反ファシズム統一人民戦線を作りあげるように努力すべきである。其他水平社、産業組合、進歩的宗教團體、平和團體、青年團、在郷軍人會等々の如き大衆團體内においても、共産主義者は、會員大衆や、地方組織をファシズム、反動、戦争反對の人民戦線の側に獲得する爲に闘はなければならぬ。共産主義者は社會大衆黨内の左翼分子と緊密な關係をもつと同時に、其反動的指導者に反対して闘争し、彼等を孤立化する事に努力すべきである。

このことと關聯して、社會大衆黨其他の大衆團體から左翼の地方組織を分裂させ、或は社會大衆黨と對立する無産政黨を新しく組織せんとするやうな企てに對しては、だん固として反對せねばならぬ。共産主義者は全力をつくして労働組合、社會大衆黨、其他の勤勞者團體の合法的存在と、それらの統一とを期

衛しなければならぬ。

△ 経済的利益擁護

二、大衆運動における左翼の政策は、労働階級、農民、都市ブルジョア等の緊急な経済的政治的利益の擁護を基礎として立てられねばならぬ。

しかししてまた、労働大衆の経済闘争は、軍部反対、ファシズムの攻撃反対、反動政策反対、國民大衆の民主主義的要求のための要求とむすびつけられることが必要である。

我々の第一の義務は、婦人少年の賣買とか、数十万の紡ぎ女工や鑛夫の奴隷的寄宿舎制度や、かん部制度、二重搾取の請負制度、臨時工制度、或は植民地的低賃銀の如き封建的國辱制度に反対し、また勤勞者の無權利や人権無視に反対して廣汎な國民運動を起すことである。

これら一切の國辱制度に反対する闘争は、全労働階級および誠實な全民主主義者の任務である。闘争の合法的形態や方法は大衆的抗議の最も初歩的な形態をも含む千差万別の方法が用ひられる。現在、大切なことは、闘争の形態や其要求が出来るだけ迅速でなければならぬといふのではなくて、廣汎な大衆を起させ、彼等を統一行動の組織に導き得るような性質のもので

ファシズムの組織や日本主義組合指導者共の收賄耻辱する反労働者的行動や組合分裂の策動に反対する廣汎な労働大衆の運動は軍部反対の闘争に向けられねばならぬ。何故なれば軍部こそが之等ファシズムの指導者であり、使喚者であるからである

△ 大衆団体内の積極的働き手として働け

四、最近開始された社会大衆黨、労働組合、農民組合の青年部を大衆的組織に再編成せんとする運動を、共産主義者は極力支持しなければならぬ。共産主義者や共青員は、これらの団体に加入し、すべての勤勞青年を加入させるように働きかけねばならない。そして、これらの組織内の最も積極的な活動分子となり、同時に左翼の政策をこれらの組織員が支持するように努力すべきである。同様の闘争は、産業組合、其他の組織の青年部内にも行はれなければならぬ。

反動的青年団体、特に日本青年團内にも我々は入つていかなければならぬ。これらの下部組織の構成員は、大多数勤勞青年である。これらの青年の間に我々の影響を擴大するための闘争が遂行されなければならぬ。

△ 農村において廣く闘へ

五、吾々はブルジョア民主主義的農業革命のためのわが黨の

なければならぬといふことである。

△ 労働組合統一のために闘へ

三、共産主義者は、現在、極度に分裂してある労働組合を、産業別、職業別に、統一合同するために闘つてゐる。今日、特に大切なことは、改良主義労働組合の下部組織内で、左翼合法労働組合との統一合同のための大衆運動を發展させることである。階級的労働組合運動の支持者は、港南労働者協議會の如き組合統一闘争のための労働者組織に参加し、かゝる組織のない地方では、先頭に立つて其組織のためにじん力すべきである。現存する非合法労働組合の全組合員は、合法労働組合に加入すべきであり、共産主義者は、全労働者を、合法労働組合に加入させるように努力する必要がある。

共産主義者は一切の改良主義的ならびに左翼労働組合が組合會議に加入し、一切の大衆團體が社会大衆黨に加盟することを支持するが、それと同時に、組合會議や社大黨内での加盟大衆團體の組織的政治的獨自性の確保のために、黨内民主主義の獲得のために闘ふべきであると考へる。

また組合會議から脱退した日本主義組合内の闘争的分子は、組合會議復歸のカムバを起すべきであらう。而して最近、民間

方針に完全に一致させるために、農村における戦術を是正し、もつと適切なものたらしめることが必要だと考へる。

農村における我々の主要な支持者が、農村プロレタリアであり、貧農であり、また農民の反地主的部分の殆どが小作人か半小作人であるといふことは正しい。だが、このことは、ある同志の意見にも拘らず、全農民、即ち、小作人や半小作人のみなならず、富農やごく小さい地主のある部分さへふくめた有産農民をもひき入れた全農民の共同闘争が日本では可能であるといふ論點とすこの矛盾も生じない。農民を奴隷化する負債、重税或は肥料、電氣代其他の強盜的獨占價格に反対し、飢と窮乏に憐む農民のための遲滞なき國軍救済を要求する闘争のために農民全体の戦線を作りあげることが、すでに現在全く可能であり、また極めて必要である。我々の任務は、農村プロレタリアの階級闘争、および小作人の引き下げ、小作人の耕地取上反対闘争等々、また農民の一般的要求のための闘争全体を發展させることである。我々の任務は、反動およびファシズムに反対し、土地と平和と自由の爲に闘争する單一の人民戦線に、廣汎な農民大衆を引き入れることである。

例へば請願運動の如き、農村では全農民運動の最も初歩的形

我々の運動は、大地主に對して特に峻烈に行はなければならぬものでも、無視してはならぬといふことは特に重要である。それのみならず、我々はあらゆる方法によつて、これらを積極的な農民運動の展開を助けるために、これらを支持し發展させなければならぬ。

大衆的農民集會を組織して、例へば請願の内容や請願に對する當局の返答を討議し、或は請願に關する議會の議事や諸委員の審議について討議するといふことが、農民の非積極的請願運動を積極的大衆運動に轉化させることが出来るし、またそれがきはめて必よであることは云ふ迄もない。そして此爲には請願運動其他の指導權が地主やフアシストの手に握られないやうに闘争することが必よである。

更にまた我々はあらゆる反地主的農民組合と全農との統一實現のために努力することが現在必要であると考へる。

△ 日常より求むるために闘へ

日常要求の闘争のために、農民および小作人の種々の委員會

を設置することもまた重要な我等の任務である。最初から革命的委員會ではないにしても、例へば請願委員會のようなものであつても農民運動の活動性と大衆的性質をつよめるための有効な武器たらしめる事ができるし、またそうしなければならぬ。小作人委員會、即ち、地主のドレイとなることに反對する闘争に、全小作人を統一した委員會（各自の政治的見解や、種々の農村團體に屬してゐることなどは一切關係なしに）が、持て大きな役割を演ずるといふことも明かである。

我らの支持者達は、農民組合が、農民委員會や、小作人委員會の創立にあつて單に妨害にとならぬのみでなく、反對にそれを援助し、且其創立に積極的と參加すべきであるといふことを繰返し力説しなければならぬ。

小作人の闘争を強化するために、なによりも第一に、現在の極度に分散した小規模の小作争議を、統一された大規模のものに、また、その争議に直接何の關係も持たない廣汎な農民大衆の同情をその闘争の側に獲得するといふことが必要である。特に我々は小作争議を支持する農民全体の委員會創立の爲に努力しなければならぬ。

農民運動の現段階においては、寄生的土地所有制に反對す

日本の地盤改革への手続

第十一ページ上段十一行目

大、小職人、使用人大衆……は

大、小職工業者……の限り。

ないと考へる。だが、小地主の土地を耕作する小作人が、その地主に對して闘争を起した場合には、小作人の側に立ち支持すべきことは勿論である。

我々は農民の、また農民運動のためのあらゆる形態の團體に参加し、反動と軍事ファシスト獨裁の危険に反對する都市と農村の勤勞者の間に統一戦線を樹立するといふ吾が主要任務を遂行しなければならぬ。

また、労働階級とその組織は、農民の要求に最も積極的な支持を與へ、それ自身も勤勞農民の主要な要求を掲げるように努力しなければならぬ。

六、小商人、使用人大衆、そしてまた、知識階級をも味かたに獲得するといふ見地から、労働階級は小ブルジョア並に勤勞知識階級の痛切な要求を掲げ、またこれを擁護し、かくして、労働階級とともに前進することによつてのみ、彼等は大獨占資本の狂瀾から借金と没落とから、頭腦労働者は失業から、そしてまたファシストの横暴と文化並に科學に對して強行される壓迫から救はれ得るものだといふ事を示さなければならぬ。

△都市小ブルの間でも活動せよ

都市小ブルジョア並の切實な要求は次の如きものであらう、

即ち、借金モラトリアム、無擔保低利資金貸付、小商工業者に對する減税、大資本家並にデパートに對する低率税反對。これと關聯して破産に瀕しつゝある小商工業者に對する救済の要求は、軍事費削減要求のための運動と結びつけられねばならない。

勤勞知識階級の要求は次の如きものであらう。即ち、學問の研究、發表の自由、文化團體の組織ならびに活動の自由。事務員市町村自治体の公りならびに頭腦労働者の生活權の保證、生活費のとり貴にとりなふ給料の引き上げ、労働組合の組織ならびに政治運動への参加の自由。

(四)

△黨を思想的、政治的、組織的に強化せよ

一、我等の當面の決定的任務は、共產黨の思想的、政治的、そして組織的強化である。黨はその思想的、政治的活動に於て宗派主義を克服しなければ一步も前進することができないし、黨内に現在有する危機は、更に増大するに相違ない。その背後に宗派主義をかくしてゐる似而非革命家の曝露をなさねばなら

。そして宗派主義は活動を消極的にさせ、大衆のための闘争を放棄させ、黨の陣列を廢棄に導くものであることを説明し、理解させねばならぬ。同時に黨を右翼日和見主義の泥ぬまに、或は社會民主主義の陣に引きずり込まんと試みる者に對する闘争を遂行すべきである。

△何よりも合法舞臺で

合法、非合法活動を巧に結びつけ乍ら、黨活動の重心は、合法舞臺に、何處よりもまづ労働組合、農民組合、無産大衆政黨内に移されなければならない。又、水平社、會社組合、青年團、産業組合、在郷軍人會等の如き大衆團體内に於ても活動はなされなければならない。

反対派(多數派)の舊構成員によつて作りだされた反目と種々の方面に對する不信とは、絶滅され、黨の完全な統一が復活されなければならない。

二、全黨員の系統的調査は、日常の仕事ぶりによつて行はなければならない。合法舞臺で永く引き續いて行はれた活動は、入黨を欲する者を調査するに際して、最大の便宜を與へる。合法的仕事で活動するの非黨左翼労働者の中から新黨員を採用し、活動が子を獲得すべきである。だがこの場合にも、彼等が

同時に此場合にも、第一の中央部から、我として黨中央機關で、全黨の思想的政治的指導の統一がなされるようにすることが望ましいのである。

同志諸君！ 以上に述べた一切の問題を全共産主義者が討議し、コンメンテルン第七回世界大會の精神に基いて、各自の實踐運動と根本的改革を極力遂行されんことを我々は懇望して止まぬ次第である。

(附言) この手紙を送らうとしたときにわが日本に二つの重大な事件が起つた。即ち、議會の總選挙と二月二十六日の軍部の陰謀事件である。

此二つの事件は國內状態に對する我々の分析ならびにこの點に展開された政治方針が全く正しかつた事を確證した。これらの事件は最も慎重に分析研究されて必要な結論を見出さなければならぬ。だが、こゝでは最も緊急な點についてののみ觸れることに止めておかう。

軍隊の叛亂は鎮定されたが、このことは決して戦争と軍事ファシストの危険を弱めはしない。新政府が組織されたときの軍部の行動が示すが如く、彼等はその地位を従来よりも更に強化

黨の仕事に参加し、それで確實さを充分に示さないうちに、黨への採用を急いで決定しない方がよい。入黨後も、彼等は一般的に合法活動を繼續し、合法的地位を保持しななければならぬ。また非合法組織のみならず、合法運動でも、ボルシェヴィキ的方法で仕事し得る黨の働き手として系統的に養成訓練するために、あらゆる方法が講ぜられなければならない。共産主義者の合法的地位を保持することの重大さを過少評價する共産主義者が今日なほ存在するが、之に對しては決定的に闘争せねばならぬ。

三、黨の仕事に、必要な屈しん性を與へるために、黨の組織構成再編成の問題がたてられる。即ちその組織形態が黨の大衆的仕事に相應し、政治活動の現状に適し、又、警察の黨組織破壊を防衛するに適當したものたらしめることである。例へば、地方では、合法大衆團體、労働組合、農民組合内に、あるひは無産大衆政黨の地族組織内に細胞をつくり、而して、共産主義者はこれらの連らくを利用して、企業に入り、そこで我らの影響を強化することが望ましい。

警察の黨組織破壊をできるだけ防止し、あるひはこれをできるだけ局部的に止め得るために、黨組織の極度の中央集權をさけ、下部組織の發育性を最大限に發揮させるべきである。そしてただでなく新政府の構成とその政策を指揮し命令してゐる陸海軍の最高指導者は、多かれ少かれ、合法的方法でファシスト支配を實現しようとしてゐるが、一方に於て軍部の極端分子は、政權の勢力が衰微と新しい冒險戦争の藏だん専行を準備してゐる。

だが、また、他の一方では、總選挙の全經過及びその結果は反ファシスト人民戦線じゆ立の可能性が充分に成就してゐることを示してゐる。公然たる民間ファシスト黨は敗北した。しかして「ファシスト反対」のスローガンを掲げた黨は勝利した。實にこの總選挙は、わが國民の大多數が、ファシズムと戦争に反対してゐることを明白に物語つて居る。無産政黨に投票した數十万の労働大衆は反ファシスト人民戦線の形成を要求し、平和と米と自由のために積極的闘争を開始せんと待ちかまへてゐる。

更に選挙の敗へるところは、多數の大衆をもふくんだ農民、都市小ブルジョア、知識階級、そして多くの中ブルジョアジイの不平分子さへも、反ファシスト人民戦線に引き入れられるといふことである。民政黨の進歩的分子や、地方組織のあるものさへも人民戦線に参加しうる可能性があるのである。共産主義者は、軍部と妥協するような民政黨の分子とは決定的に闘争

するが、それと同時に、社会大衆黨その他の無産階級と民政黨の地方組織や進歩的要素との協定を支持すべきであると考へる勿論、右の協定が、あくまでもファシズム反対にむけられたものでなければならぬことは言ふまでもないしかしてかゝる協定は、ファシズムと戦争反対のために、大衆を積極的に動員することを著しくたやすくするに相違ないのだ。

しかしながら、民政黨のみならず、社会大衆黨や組合會議の指導者が二月二十六日の軍部のファシシヨ的陰謀に際しておく病癒まるみぢめな態度をとつたといふ事は、一切のファシズム反対者をして、今さらながら次ぎの如きことを思ひ起させる即ち反ファシシヨ人民戦線は、廣汎な人民運動の動力によつて即ち労働組合、農民組合、文化團體その他の諸團體、或は社会大衆黨や、民政黨の地方組織の、下からの強大な壓力によつてのみ形成されるものだといふことである。

諸政黨や大衆團體の上からの協定を支持するすべてのファシシヨ反対者が、同時に、合法大衆團體の會員や社会大衆黨員、或は民政黨内の勤勞分子が下からおこす反ファシシヨ運動の發展に力を集中するならば、吾日本において反ファシシヨ人民戦線が形成され、その力は成長し強化されるであらう。廣汎な人民運動は、ファシズムと戦争反対の唯一の信頼しうる武器で

あるばかりでなく、反ファシシヨ人民戦線の形成と擴大のため

の闘争における最も強力な武器でもある。組織されてゐる人々の間の仕事だけではまだ不十分である。吾々の任務は、例へば國民大會、市町村大會その他の方法で、廣汎な大衆を反ファシシヨ運動へ引き入れ、社会大衆黨や民政黨が、選挙に際してなした反ファシシヨ闘争の約束の實行を、大衆が要求するようすべきであり、また大衆自身が要求を出し、それを政府や議會に提出し、或はその爲の闘争委員會を形成するよりせねばならない。

廣汎な反ファシシヨ人民戦線のみが、吾日本におけるファシズム及冒險戦争への道を遮断することが出来る。更に、廣汎な反ファシシヨ人民戦線は、平和、自由と、米と土地との爲の人民革命の偉大な潮流に發展させることができ、しかしして労働階級の完全な解放、即ち社会主義のための闘争への道を開くであらう。

しかし、このことは、全共產主義者、一切のファシシヨ反対者の偉大なる活動によつてのみ、實現されるものである。共產主義者は労働大衆と完全に融合し、大衆を率て、如何なる困難にも屈せず、労働者、農民、その他の勤勞大衆の間で倦まずたゆまず、活動しなければならぬ。現在ではこのことこそが、

吾黨をして、日本の全勤勞人民の指導者たらしめ、彼等を勝利にまで導き得させる第一の必要條件である。(三月)

「國通編者註——我々は、本書簡を國通五月特別號として、諸君におくりうることを喜ぶ。讀みやすくする爲、勝手にコミダシをトコロ／＼入れた。諒承されよ。」(國通五月号「特別版」)

▽ 既 刊 ! ▽

西川 著

「合法舞臺での活動を強化せよ！」

(合法舞臺での活動を強調した必讀の書。
一部五錢。日本郵券封入、本社または
代理店宛即時申込み！)

C-o. Prompt Press,
39 E. 12th St.,
New York, N. Y., U. S. A.
C-o. Bookshop
2135 West Division St.,
Chicago, Ill., U. S. A.

△ ス レ ド フ △

△ 國際通信 三月號

△ 明瞭日本のために——岡野

△ ファシシヨ的指導者との

闘争を正しい方向へ！

△ 國際つう信 四月號

△ 全面的闘争へ！

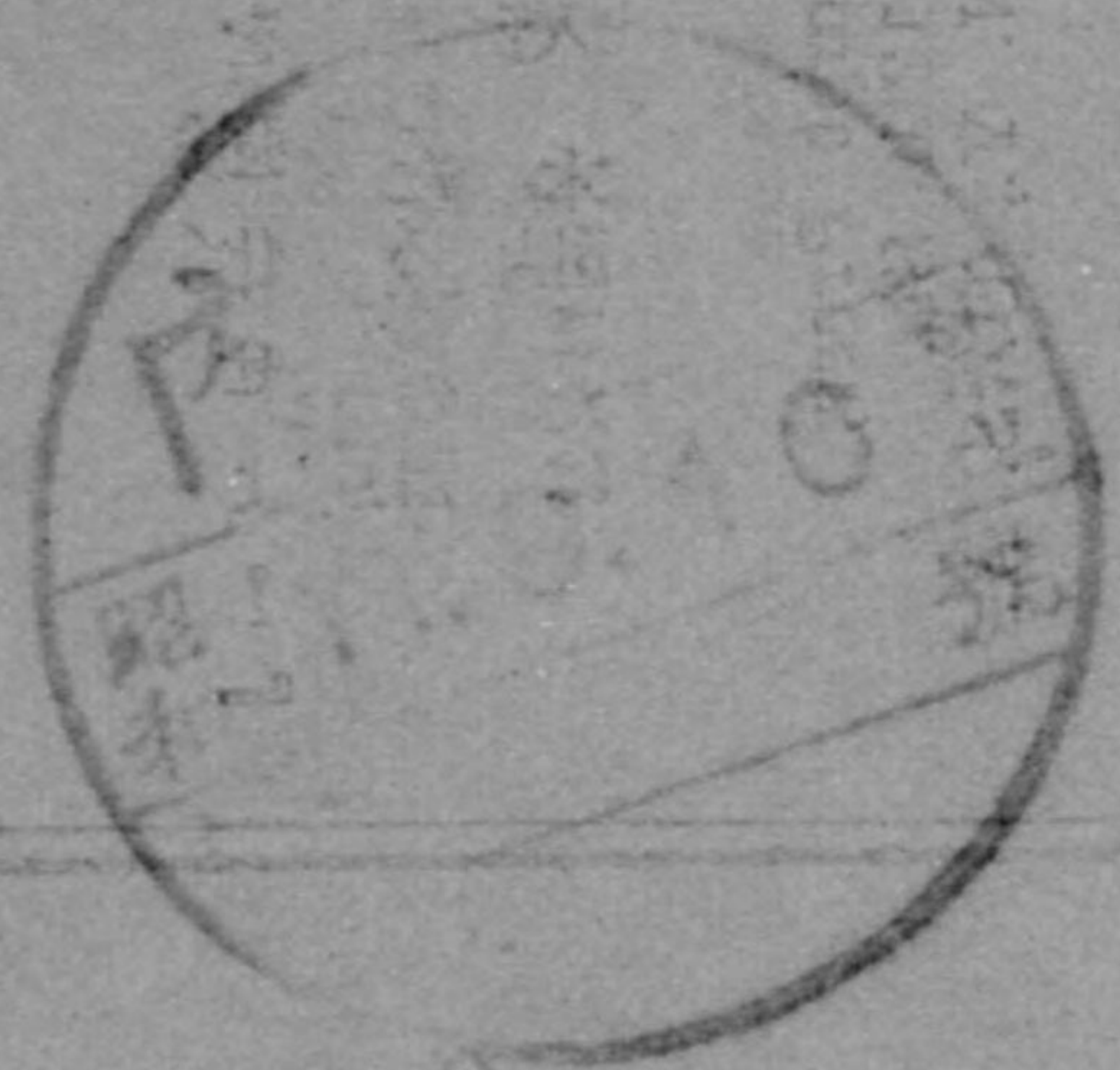
△ 新黨樹立を排せ

△ 思ひ上るな——クーンネン

……その他……

CHINESE TELETYPE
Cable Address: DIANJI
Cable Code: 2000

NEW YORK, N. Y.
Cable Address: DIANJI
Cable Code: 2000



△ 照 射 ! △

CHINESE TELETYPE
Cable Address: DIANJI
Cable Code: 2000

CHINESE TELETYPE
Cable Address: DIANJI
Cable Code: 2000

△ 照 射 ! △

△ 照 射 ! △

△ 照 射 ! △

△ 照 射 ! △

CHINESE TELETYPE
Cable Address: DIANJI
Cable Code: 2000

△ 照 射 ! △

△ 照 射 ! △

△ 照 射 ! △

